

厚生労働省 令和3年度障害者政策総合研究事業

「障害特性に対応した住居の構造等の類型化のための調査研究」へのご協力をお願い

東京大学 工学系研究科 建築学専攻 准教授 松田雄二

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私ども東京大学大学院工学系研究科建築学専攻松田研究室（代表者：松田雄二）では、障害者支援施設や障害者グループホームの居住環境について、継続的に調査を行っております。このたび、厚生労働省の「令和3年度障害者政策総合研究事業」の一環として、全国の障害者支援施設を対象に、障害特性（身体障害、医療的ケア、強度行動障害、高次脳機能障害等）に対応した効果的な居住環境について、調査研究を実施することといたしました。

この調査研究では、それぞれの障害特性に対して効果的な住居構造を明らかにするとともに、その費用対効果を分析し、障害福祉サービス等報酬改定や社会福祉施設等施設整備費補助金等の今後の検討資料とすることを目的としております。

つきましては、諸事ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解頂き、ぜひともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

本調査の趣旨

本調査は、幅広い障害特性と障害の重度化に対応しうる障害者支援施設の拡充を、全体の目標としています。具体的に期待される効果は、以下の通りです。

- ・ 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の検討に資する資料の作成
- ・ 社会福祉施設等施設整備費補助金の検討における多様な障害特性に関する住環境整備方法の提示
- ・ 事業者の方々が参考にできる施設整備ガイドブックの作成

ご回答にあたっての留意事項

- ・ **令和3年10月22日(金)**までに、調査票のメールによるご提出をお願いいたします。
- ・ 本調査票の回答に要する時間は45分程度を見込んでおります。
- ・ ご回答にあたって、別添の「障害者支援施設調査 回答要領 (PDF)」を十分にご確認ください。
- ・ 謝金のお支払いはございません。
- ・ アンケートへのご回答をもって、情報を研究にご提供いただくことへの同意とみなします。
- ・ ご回答いただいた内容は、統計的に処理を行い、ご回答者名や施設名が特定されることは一切ありません。また、調査以外の目的に使用することはありません。
- ・ ご記入いただきました個人情報（回答者様のご連絡先）、および運営法人名、施設名などの情報は、東京大学松田研究室にて厳重に管理し、一切外部に流出させません。

調査実施者

本調査は、厚生労働省の「令和3年度障害者政策総合研究事業」の一環として、東京大学工学系研究科建築学専攻松田研究室が実施するものです。調査内容等に関するご不明点は、次ページの「お問い合わせ先」にご連絡ください。

調査項目の概要

設問の分類	主な調査項目
1. 貴施設の属性	<ul style="list-style-type: none">・ 運営主体・ 開設年・ 建物の立地・ サービスごとの定員及び現在利用されている入所者・ 職員配置及び平均勤続年数 等
2. 入居者の皆様について	<ul style="list-style-type: none">・ 年代別人数・ 障害状況ごとの人数・ 医療的ケアの有無及び種類 等
3. 建物の現況	<ul style="list-style-type: none">・ 建設年・ 建物の構造・ 延床面積及び居室面積・ 居室内の設備・ バリアフリー状況・ 消防設備及びエレベーターの設置状況・ ユニット化の有無と概要 等
4. 建設及び修繕について	<ul style="list-style-type: none">・ 施設整備費・ 設備備品整備費・ 新築時の重度障害対応に関する工夫・ 建物や設備の修繕の有無(過去3年間)・ 施設修繕費(過去3年間)・ 修繕時の重度障害対応に関する工夫 等
5. 現在のケア環境の評価	<ul style="list-style-type: none">・ 職員の負担感・ 入居者の行動特性・ 建物に対する満足度 等

お問い合わせ先

東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 松田研究室 担当：松田雄二(准教授)、神門侑子(博士課程)
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
E-mail : research@arch1.t.u-tokyo.ac.jp

*テレワークによる離席の可能性が高いため、大変恐れ入りますが、お問い合わせはメールにてお願いいたします。

以上